平成 30 年　8月吉日

薬剤部(科)長･薬局長　殿
会員各位

一般社団法人　滋賀県病院薬剤師会
会長　　寺田　智祐
学術部部長　　岩崎　秀子

平成30年度 学術委員会　秋のセミナーのご案内

拝啓

平素は学術委員会の活動に対してご理解とご協力賜り厚く御礼申し上げます。
さて、今年度も学術委員会主催のセミナーを下記の日程で開催することとなりましたのでご案内申しあげます。
会員相互の交流も目的の一つとなっておりますので、奮ってご参加していただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

（ テーマ ）患者さんに寄り添う薬剤師になるために
～　緩和ケア編　～

日　時　平成 30年 **10月　13日　（ 土 ）**　（ 受付 11:45 ）

セミナー　12:30～16:50　懇親会　17:20～19:30

場　所　セミナー会場　**G-NET しが**　滋賀県近江八幡市鷹飼町 80-4　（駐車場有）

Tel　0748-37-3751　JR 近江八幡駅 南口より 500m 徒歩 10 分、
または　南口から近江バス 『 男女共同参画センター前 』下車

懇親会会場　**ビステッカ**　滋賀県近江八幡市鷹飼町 526-1

近江牛＆新鮮魚介のグリル＆ピッツァのお店です。ブッフェスタイルで開催します。
Tel　0748-31-3266　JR 近江八幡駅 北口より 250m 徒歩4分、

参加費　セミナーのみ　**1,000円**　　セミナー･懇親会通し　**2,000円**

申込方法　施設毎に取りまとめて、添付の EXCEL ファイルの申込書に記入の上、
下記アドレス宛にお送りいただきますようよろしくお願いします。

申込先　大津赤十字病院　薬剤部　上田　豊実　E-Mail：　ueda.otsu.jrc@gmail.com

申込締切　**8月31日(金)**

その他

◎ 当日は、ご参加いただいたことの確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品適正使用情報および医学・薬学に関する情報の提供のために利用させていただきます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎ **懇親会の参加について**：事前申し込みとさせていただきますのでよろしくお願いします。

◎ **最終案内**　：セミナー開催２週間前頃に、申し込み結果と最終案内を送信しますので、未着の場合は、上記、申込先までご連絡下さい。

◎ **認定単位について**

・本研修会は、日病薬病院薬学認定薬剤師の認定単位の申請予定です。
単位の種別については、変更になることがありますのでご了承下さい。

・日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師の講習会（予定単位：２単位）として申請予定です。

◎ **各講演の内容への質問や緩和に関して、事前の質問を受け付けます。**

参加申込書の質問欄に記入し、お送りください。

プログラム

12:30～12:40　**開 会 式**

12:40～13:00　**情 報 提 供　『 ヒドロモルフォン塩酸塩について 』**　第一三共株式会社

13:00～13:50　**『医療用麻薬の適正な取扱いについて（仮）』**　**（ 単位　Ⅰ－３ ）**

滋賀県健康医療福祉部　薬務感染症対策課　山元　新治　先生

13:50～14:40　**『 がん疼痛治療における医療用麻薬の使用方法（仮）』（ 単位　Ⅴ－２ ）**

滋賀医科大学附属病院 薬剤部　森井　博朗　先生

14:40～15:00　**休 憩（ もぐもぐタイム ）**

スターバックスの飲み物とお菓子で、ほっこりしましょう！

15:00～15:50　**『 がん患者さんのせん妄について（仮）』**　**（ 単位　Ⅲ－１ ）**

滋賀医科大学　腫瘍センター　森田　幸代　先生

15:50～16:40　**『 誰もが安心して、いきいきと暮らし続けるために（仮）**

～ 永源寺地域における「地域まるごとケア」の目指すべき方向性 ～ 』　**（ 単位　Ⅲ－２ ）**

丸山薬局　大石　和美　先生

16:40～16:50　**閉 会 式**

17:20～19:30　**懇 親 会　～ 楽しく交流を図りましょう！！ ～**

内　容

『 医療用麻薬の適正な取扱いについて （仮）』

医療麻薬の不適切な取扱いは、患者へ影響を与えるのみならず、重大な事件や事故を引き起こす可能性がある。今回、法の規制から麻薬の適正な取扱いについて解説するとともに、県に報告される具体的な事故や違反事例の紹介を行う。また、医療用麻薬の消費量や乱用防止製剤等の医療用麻薬に関するトピックスについても情報提供をする。

『 がん疼痛治療における医療用麻薬の使用方法 （仮）』

がん患者さんの全人的苦痛を緩和させるためには、まずは身体的苦痛とりわけ「がん性疼痛」の軽減が最優先されます。薬物療法として医療用麻薬が使用されます。最近はメサドンやヒドロモルフォンなど新規の医療用麻薬も我が国に導入もされており、薬剤師はますます医療用麻薬について熟知しておく必要があります。今回、「WHO がん疼痛治療法」に基づく医療用麻薬の使用方法をお伝えすることでテーマでもある「患者さんに寄り添う薬剤師になるために」にお役立ていただければと思います。

『 がん患者さんのせん妄について （仮）』

せん妄は“急性に生じる意識障害を主体とした精神神経症状”で、がんのあらゆる時期に出現し、特に終末期に近づくとその頻度が増す。せん妄は、不穏や意思疎通の困難さなどによる患者・家族の苦痛や事故、症状評価の障害、患者の意思決定の障害はもとより、入院の長期化や医療者の疲弊などの問題も引き起こす。せん妄には早期対応が重要であり、医療者がその症状を知り、日々、対処法を実践することが患者の苦痛軽減につながる。

『 誰もが安心して、いきいきと暮らし続けるために （仮） 】

先般、厚生労働省が「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を改訂した。それには、『自分自身が人生の最終段階でどのような医療・ケアを受けたいか』について、「家族や友人、医療・介護関係者等と話し合う」こと。さらに「意思は変化しうるものであり、繰り返し話し合い、都度、文章にしておくことが望ましい」と記された。 今回、住み慣れた地域で暮らし、人生を仕舞いたいと願う人々の思いをかなえるため、専門職が提供する「地域包括ケア」と、非専門職が支え合う「おたがいさん」を地域のなかでつなぎ合わせる『チーム永源寺』の活動を紹介する。

セミナー 共催　（一社） 滋賀県病院薬剤師会　第一三共株式会社
懇親会　主催　（一社） 滋賀県病院薬剤師会

会　場　案　内

セミナー会場　（近江八幡駅 → G-NETしが ）

懇親会会場 （ G-NET しが → ビステッカ ）

以　上